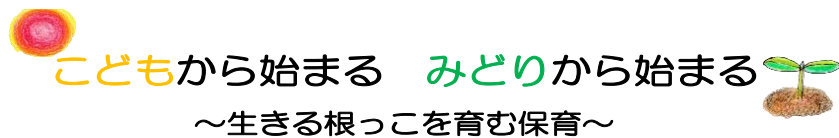


幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園



「まこと先生だより 第16号」

令和4年度第3回「保育環境改善プログラム」の勉強会の実施

4月の参観日やこども園だよりでお知らせしましたように、「清武みどり幼稚園」と姉妹園の「みどり幼稚園」は、今年度から21世紀型教育と保育を目指して「保育環境改善プログラム」を導入しました。県外から著名な講師（藤田篤先生）をお招きし、年間6回のご指導を園内で直接していただく予定です。今回3回目の勉強会を実施しましたので、その概要等を紙面にて保護者の皆様方にお伝えいたします。

1 保育環境改善プログラムの目的

保育環境改善プログラムの主な目的は以下の通りです。

- 発達心理学に基づいた、知育玩具、絵本、わらべうたの知識、情報、スキル、技術保育環境を改善し、評価できる科学的、客観的な保育環境改善方法
- 一人一人の子どもの内面、背景を洞察する子どもの行動分析から保育にフィードバックする力 を本園の先生方にご助言いただきます。

2 保育環境改善プログラムの講師（日本知育玩具協会のホームページより引用）

講師は、藤田 篤先生で25年間にわたり保育環境改善に携わり、蓄積された成功事例や失敗事例に基づいた助言を先生方にお話ししていただきました。

子どもが輝く保育、保育士が輝く保育、保育園が輝く保育。それが、保育環境改善プログラムです。

<藤田先生の略歴>

1966年生まれ。北海道大学教育学部で発達心理学を学ぶ。現在は日本知育玩具協会理事長として講演・研修・各種メディアへの出演など全国で活躍中。

3 知育玩具（おもちゃ）の導入（日本知育玩具協会のホームページより引用）

今年度当初に購入しましたおもちゃは、赤ちゃんのおもちゃをはじめとして、何よりも子どもにとって「安全」であることを基準としています。子どもが舐めても、口に入れても安全であるなど、厳しい安全基準をクリアしたおもちゃだけを購入しました。

<感性豊かな遊び>

乳児期、幼児期は、感性と人間性、知性の基礎が形成される時期。美しく正確な音階と音色、自然で調和のある色彩と色合い。豊かに五感を刺激するおもちゃを選

んでいます。

<教育的なおもちゃ>

遊びとは、『子どもが自ら、主体的に自分を幸せにし、社会に幸せをもたらす力 (=学ぶ力、生きる力)』すなわち『非認知能力』を身につける方法です。幼児期、学童期から青年期にかけては感性と人間性、知性に加え、社会性、主体性が課題となります。よいおもちゃを有効に与えることで、一部の能力に偏ることなく、それら生きていくうえで、必要な力をバランスよく育て、また同世代、親子で育てあっていくことができます。

<流行に流されず、世代を超えるおもちゃ>

流行に追随するのではなく、『末永く』遊べるおもちゃを選んでいきます。親から子、孫へと引き継がれる愛情のように、おもちゃも代々、家庭の文化、愛情の文化として伝承してもらいたいと願っています。

4 第3回保育環境改善プログラムに関する勉強会の様子

期日：9月28日（水） 18時 ～20時30分

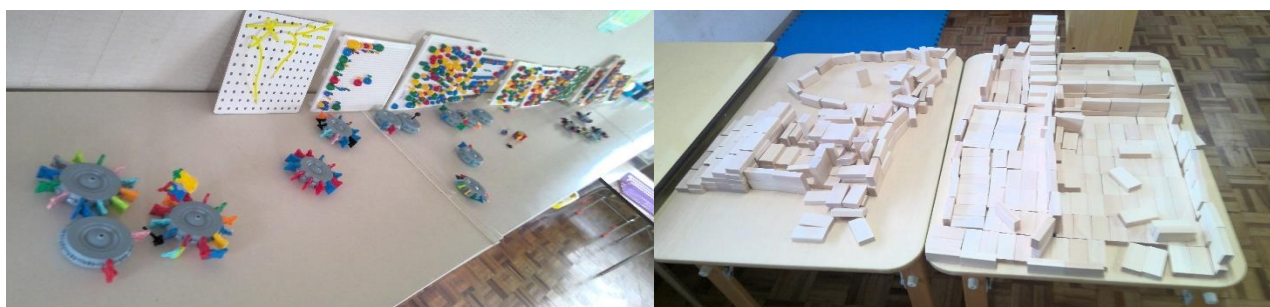
9月29日（木） 9時30分～15時30分

内容：知育玩具の取り扱いと園児への与え方など



<28日夜の勉強会の様子>

宮崎学園短期大学の6名の先生方も参加されました。藤田先生のユーモアあふれるお話を聞いたり、実際に購入した知育玩具を使ったりして真剣に学びました。



<園児が作った作品の様子>

こどもたちの想像力は大人以上に溢れており驚かされます。